

「セブンアイランド結」の処女航海と「さるびあ丸」

個人会員 福富 廉

7月13日（月）の「セブンアイランド結」の就航に際して、東海汽船より、伊豆大島往復で新造船2隻に乗船できる夜行日帰り“WELCOME きっぷ”なる就航記念の格安きっぷ（約半額、就航前日発とその翌日発の2本のみ）が発売されたので、早速行ってきた。やはり新造船に乗船できるのはうれしいものである。

「さるびあ丸」は既に出ている沼田会員の詳しいレポートに全く同感であるが、快適に思えた「橘丸」のオープンデッキが1層上がったためにこんなになってしまったのかと、少し残念だった。まあ、「橘丸」より2割以上多い定員、納涼船としての使用等々、多くの条件でコンパクトになっているのであろうが。あと、2等（頭上）／特2等（ベッド内）の全席に1つずつ有料のコインロッカーが付いていたのには驚いた。確か「橘丸」では全席では無かったような気がしたが。特に特2等は構造が違うし。

ちなみに、4デッキの中央階段の壁に柳原良平さんのイラストがあるのはうれしかった。最近オープンした横浜のアウトレットでも大きなイラストの看板が掲げられており、まだまだ作品が現役なのはうれしい。ただ、売られているロゴグッズが全て先代の物ばかりだったのはとても残念だった。

一方、「セブンアイランド結」のほうは、中身が他船とどう違うのかは全くわからなかったが（座席配置や多目的トイレの設置等は違うらしい）、外観は他船に比べると全く落ち着いた感じで、NCLとHALの違いが頭に浮かんだ。

岡田港の突端で待ち構えていると、10分遅れて入港してきたために、風早崎から出てきた「さるびあ丸」との2ショットも撮影することができた。

乗船を待っている時は、乗客はそこそこ多いかと思ったが、コロナウィルスの影響で座席は1席おき。ちなみに、この日は、同時刻に大島発の「セブンアイランド友」が設定されており、本来なら1隻で済む乗客数であっただろう。同船は観音崎沖まで遠くではあるがこちらの左前方をずっと並走する姿が見えており、これはこれでうれしかった。



← 伊豆大島・岡田港での2ショット

✓ 岡田港の「さるびあ丸」

↓ 壁の柳原良平さんのイラスト

